

I 研究主題と副題

未来に希望をもち、主体的に学び続ける子どもの育成
～キャリア教育の指導の充実をとおして～

II 主題設定の理由

国富町では、「未来に希望のもてる国富を創り支える教育の展開」を活動の指針として、「第五次国富町総合計画」の「心豊かでいきいきと輝く人づくり」を目指し、「くにとみ教育ビジョン」の「元気」「つながり」「ふるさと」「自立」をキーワードとした教育をすすめている。

本教育研究センターでは、平成24年度から平成30年度まで、確かな学力の向上を目指し、市川伸一氏の提唱する「教えて考えさせる授業」の考え方を活かした授業改善や家庭学習の指導に取り組んできた。成果としては、児童生徒に確かな学力を身に付けさせる有効な指導法であることが確認でき、自らの指導方法の一つとして取り入れることで指導法の幅が広がった教職員が多いこと、さらに、学力下位層の児童生徒に対しても、基礎的・基本的な内容を身に付けさせることができたことなどが挙げられる。

令和元年度からは、町内の各学校における教育的課題を踏まえ、児童生徒がよりよく生きるための手立てとしてキャリア教育の充実を図るための研究に取り組んでいる。昨年度は、各学校の「キャリア教育全体計画」、「全国学力・学習状況調査」の「児童生徒質問紙」の回答結果、さらには本教育研究センターで実施したアンケート調査の結果などから、キャリア教育で育成すべき力（基礎的・汎用的能力）の中で、町内の児童生徒のどんな力を伸ばしていけばよいのかを議論した。その結果、基礎的・汎用的能力の中でも「リーダーシップ」「自分のよい所を活かす力」「計画立案の力、実行力、評価改善の力」「行動・改善の力」を伸ばすことが必要であると結論付けた。それらの資質能力を育むための手立てを考える中で、発達段階に応じた指導の在り方を考慮しながらも、町内の小・中学校で共通して活用できる学習モデルを作成することが効果的であると考えた。そこで、どの小・中学校でもそれぞれに実施している「学習発表会」に着目し、「学習発表会学習計画モデル」を作成した。

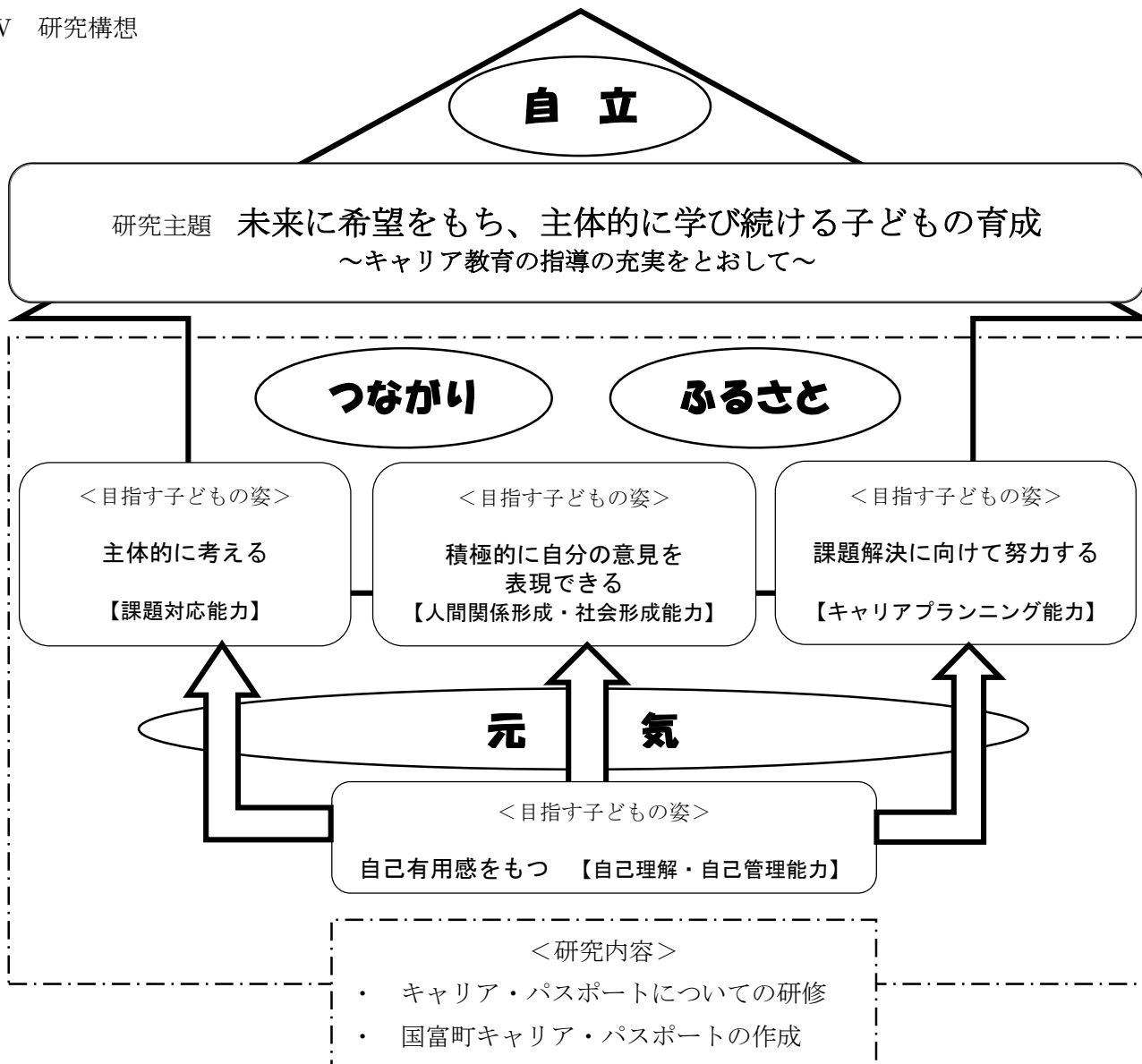
本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の中、各学校では授業時数の確保に苦慮するなど教育活動にゆとりがもてない状況となり、本教育研究センターにおいても、研究会や検証授業等の実施の可能性を探りながらの不安なスタートとなった。そこで、本年度の活動内容についてさまざまな案を出し合い検討した結果、次年度から実施されるキャリア・パスポートについて研究を深めることが喫緊の課題であると考え、国富町キャリア・パスポートの作成と町内教職員への周知に取り組むこととした。作成においては、県版キャリア・パスポートをもとにしながら、町内児童生徒のキャリア教育に関する課題への対応を反映させることとした。また、総合的な学習の時間で実施している「くにとみ学」の充実を図るために「くにとみ学」のシートを新たに加えることにした。

本教育研究センターのこのような取組は、町の教育的課題に応えるものであるとともに、「くにとみ教育ビジョン」の具現化に迫るものであり、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成を目指す上で意義深いと考える。

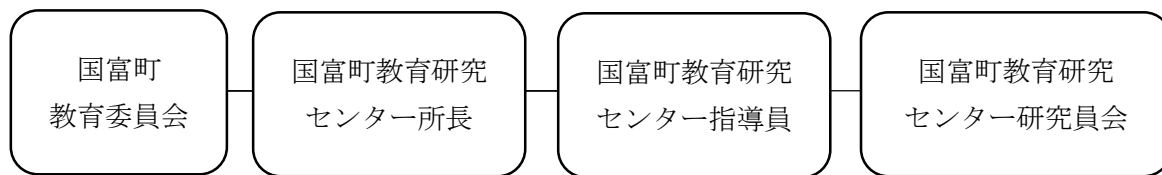
III 目指す子どもの姿

- 高い自己有用感をもち、主体的に考え、積極的に自分の意見を表現できる子
- 学んだことを活かして、課題解決に向けて努力する子

IV 研究構想



V 研究組織



<資料> キャリア教育で育成すべき「基礎的・汎用的能力」(太字は本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力)

人間関係形成・ 社会形成能力	A B	他者の個性を理解する力 コミュニケーションスキル	C D	チームワーク リーダーシップ
自己理解・ 自己管理能力	E F G	自己の役割の理解 自分のよい所を活かす 規範意識	H I	忍耐力、ストレスマネジメント 前向きに考える力、主体的行動
課題対応能力	J K	情報の理解、選択、処理等 本質の理解、原因の追究、課題発見	L	計画立案、実行力、評価・改善
キャリアプラン ニング能力	M N	学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 将来設計、選択	O	行動・改善

くにとみ教育ビジョン

「心豊かでいきいきと輝く人づくり」

自立

夢や希望をもって未来を切り拓き、いきいきと人生を楽しむ

つながり

地域づくりと子どもの教育を
全ての町民で推進する

横のつながり（連携）

- ア 町民みんなで、安全で楽しく強い絆の地域づくりに取り組みます。
- イ 学校・家庭・地域で連携して、将来を担う子どもを守り、育てます。
- ウ 地域の子育て支援、学校支援体制づくりを進めます。

縦のつながり（一貫）

- ア 幼児教育から小中学校まで、一貫した教育を推進します。
- イ 学校や幼児教育機関相互の連携を推進します。
- ウ 心ふれあう世代間交流事業を促進します。

ふるさと

歴史や伝統・豊かな自然を守り、
人づくりに活かす

郷土愛に支えられた国富ならではの教育

<ふるさとを愛する人づくり>

- ア 豊かな自然環境を大切に守ろうとする心を育てます。
- イ 「くにとみ学」や町民のふれあいを通して、国富を愛し、大切に思う心を育てます。

<伝統と文化の保護・活用促進>

- ア フィールドミュージアム構想を核として、伝統文化や古墳・史跡の保全と整備により、教育への積極的な活用を進め、町の活性化に活かします。
- イ 生涯学習講座等を通して、伝統と文化の保護と活用を進めます。
- ウ 文化関連施設の整備、文化的行事の充実を図ります。

元気

生涯にわたる町民の学習と
健康づくりを充実する

一人1学習・1スポーツの推進

<生きがい育てる生涯学習の推進>

- ア 個性を發揮し、絆を深める各種講座を充実します。
- イ ライフステージに応じた自己実現の活動を支援します。

<スポーツ、レクリエーション活動と健康づくりの推進>

- ア スポーツ環境を整備するとともに、指導者の育成や組織の活性化を図ります。
- イ アリーナくにとみを拠点に、スポーツや健康づくりを図ります。

活気あふれる学校教育を創造する

未来を切り拓く生きる力の育成

<確かな学力と豊かな心を持ち、心身ともにたくましい子どもの育成>

- ア 授業の工夫改善を進め、子どもの学ぶ意欲と学力を保障します。
- イ 生命尊重の心、強い精神力を育みます。
- ウ キャリア教育や食育・体育、特別支援教育充実のための教育内容の整備を進めます。

<教育諸条件の整備>

- ア 教職員の研修を充実し資質向上を図ります。
- イ 教育施設・設備など教育環境の整備・充実を図ります。
- ウ 教育に関する相談体制を充実し、就学を円滑に進めます。

VI 研究の実際

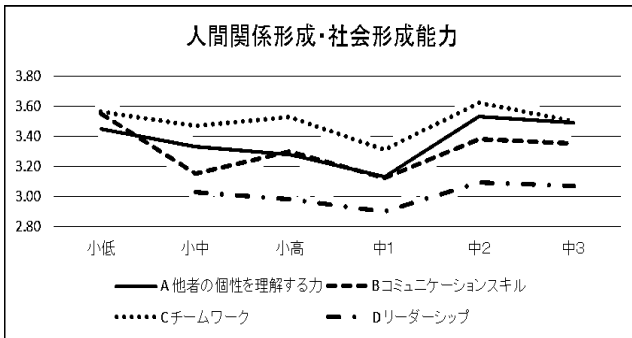
1 キャリア・パスポートについての研修

(1) 昨年度の研究について

本教育研究センターでは、昨年度、町内全学校の全児童生徒を対象に、キャリア教育に関するアンケート調査を行い、児童生徒の実態を把握した。アンケート項目は、キャリア教育で育成すべき4つの「基礎的・汎用的能力」(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)ごとに、その内容や趣旨を踏まえ、発達段階に応じて設定した。

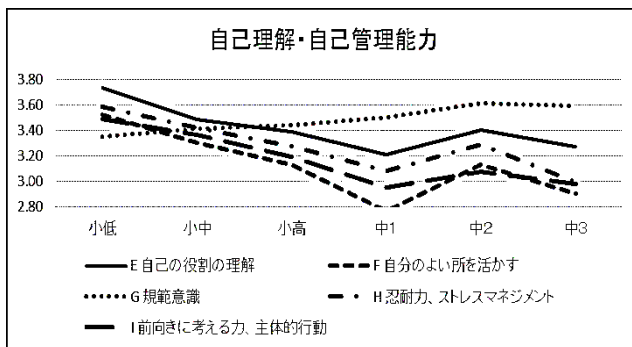
① 調査結果と考察

町内全部の児童生徒の回答を集計し分析を加えた。考察の一部を掲載する。



<人間関係形成・社会形成能力に関する考察>

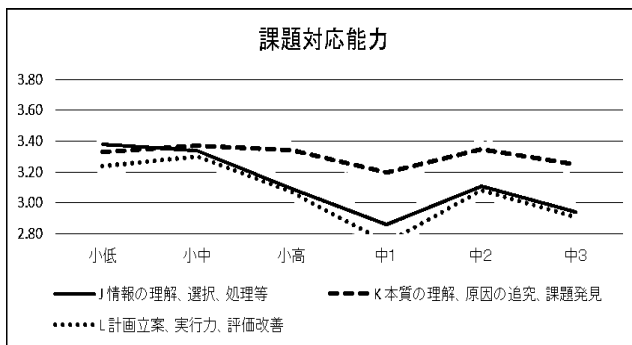
全体を通して、本町の児童生徒は、協調性はあるが、自ら前面に出て周囲を引っ張っていくことへの意識は低い傾向がある。学校生活において、そのような場が少なく、リーダー性を発揮できる機会が少ないことにも要因があるようである。



<自己理解・自己管理能力に関する考察>

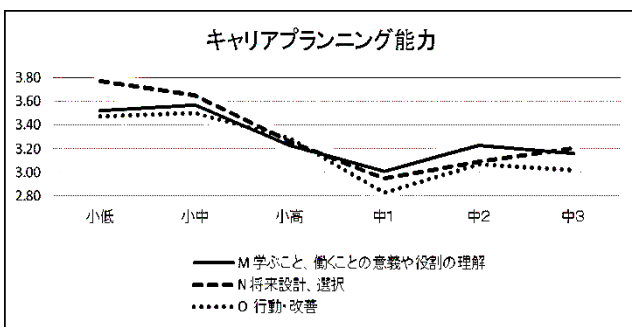
自己理解 (E) については、全体的に学年が上がるにつれて低くなっていく傾向がある。

自己理解 (E) と自分のよい所を活かす (F) との関係からみると、自分の得意なことを理解していてもその活かし方が分かっていないようであり、周囲に遠慮して自分の長所を活かしていないようにも思われる。成功体験を増やしたり、称賛する機会を増やすと自信がついてくるのではないかと考えられる。



<課題対応能力に関する考察>

学年が上がるにつれて、得られる情報や知識も増えてくる。その上で自ら行うことや課題を発見し対応することが多くなってくるが、適切に計画を立ててその課題を処理し解決することができていないと考えられる。



<キャリアプランニング能力に関する考察>

行動・改善 (O) については、「キャリアプランニング能力」を問う項目の中で最も低い結果である。キャリアプランニングという視点から考えると、仕事の大切さや将来の目標は見据えつつあるものの、自ら取り組む、工夫するという点で課題がある。

② 本町の児童生徒に身に付けさせたい力の明確化

アンケートの結果・考察から、キャリア教育を通して、本町の児童生徒に身に付けさせたい力を明確にした。

基礎的・汎用的能力	本町の児童生徒に身に付けさせたい力
人間関係形成・社会形成能力	リーダーシップ (D)
自己理解・自己管理能力	自分のよい所を活かす (F)
課題対応能力	計画立案、実行力、評価・改善 (L)
キャリアプランニング能力	行動・改善 (O)

(2) キャリア・パスポートの意義についての研修

来年度よりキャリア・パスポートが本格実施となる。本町においては、未来に希望をもち、主体的に学び続ける子どもの育成を図れるようなキャリア教育の指導を充実させるため、その一つの方法として本町独自のキャリア・パスポートの実践を行っていきたいと考えた。

そこで、キャリア・パスポートの意義や内容、留意点などについて深く理解しておくことが必要であると考え、県教育研修センターより講師を招いて研修を行った。

① 研修内容

「特別活動を要とするキャリア教育とキャリア・パスポート」

- | |
|--|
| 1 キャリア教育の必要性 |
| 2 キャリア教育とは |
| 3 キャリア・パスポートについて |
| ○ 特別活動の学級活動を要とする ○ 教育活動全体を通じて実施する |

② 研修での学びからの今後の実践

研修を受けて、キャリア・パスポートは、子どもの指導に役立てるための道具であり、児童・生徒一人一人と対話的に関わることを可能にすることを理解できた。また、本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力を育成するために、視点を明確にして、県版キャリア・パスポートを参考にしながら、国富町キャリア・パスポートを作成していくことの必要性を確認することができた。

○ 国富町キャリア・パスポート

研修を受けて、国富町らしさを出すことのできるキャリア・パスポートを作成するために、2つの視点を設けた。

【視点1：本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力】

本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力の育成を視点としながら、県版キャリア・パスポートを参考に、国富町キャリア・パスポートの作成を行うようにした。キャリア・パスポートの初めの部分に書かれている「〇年生のみなさんへ」においては、キャリア教育を通して各学年で成長してほしい姿を、本町の身に付けさせたい4つの力も視点にもちながら、メッセージとして作成することにした。その他、いろいろな学校行事についても、身に付けさせたい4つの力の視点をもって見直していくこととした。

【視点2：「くにとみ学」に関わるページの作成】

本町では、総合的な学習の時間において、勤労観・職業観、郷土への愛情を育てることをねらいとした「くにとみ学」を全小中学校で実践している。そこで、本町独自の取組である「くにとみ学」の学習記録のページを作成することにした。

2 国富町キャリア・パスポートの作成

(1) 小学校運動会

① 県版キャリア・パスポートの実践と考察

本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力を考慮し、県版のキャリア・パスポートの内容を変更した。まず、「計画立案、実行力、評価・改善（L）」の力を身に付けさせるために、具体的な目標を記入させる欄を設けた。そして、目標を達成するために努力しなければならないことは何かを考えさせられるようにした。また、小学校高学年では、仕事面についても考えて欲しいことから、自分の係に関する記入欄を設けた。これらのことで、様々な面で自分のよさを活かすことが出来ることに気付かせ、「自分のよい所を伸ばす（F）」の向上につなげられると考えた。

運動会に向けて		6年 組 番
____月 ____日		名前
○ 運動会の目標(学年(学級)全体の目標)		
運動会高		
○ 運動会で大切なことを考えよう。		
↓		
○ 自分の目標を決めよう。		
↓		
○ 練習での自分のがんばりをたしかめましょう。		
自分の目標達成度		
月	日	☆☆☆☆☆
月	日	☆☆☆☆☆
月	日	☆☆☆☆☆

《変更前》

運動会に向けて		6年 組 番
____月 ____日		名前
○ 運動会の目標(学年(学級)全体の目標)		
学校のリーダーという意識をもって、自分の役割に責任をもちながら周りや仲間のことを考えて運動会を盛り上げよう。		
○ 運動会の役員		○ 運動会を成功させるために大事なことは何か考えよう。
____		〈仕事面〉
○ 役員の仕事の内容		〈表現・団技等〉
____		____
↓		
○ 運動会の自分の目標をきめよう。		

○ そのために努力することを書きましょう。		

○ 練習での自分のがんばりをたしかめましょう。		
自分の目標達成度		
月	日	☆☆☆☆☆
月	日	☆☆☆☆☆
月	日	☆☆☆☆☆
月	日	☆☆☆☆☆

《変更後》

② 国富町キャリア・パスポートの作成

県版のキャリア・パスポートを変更したものを実際に使用して見つかった課題や、本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力を考慮した国富町のキャリア・パスポートを作成した。

課題として、児童が「運動会でがんばることを決めよう。」といった指示に対して、どのようなことを書けばよいのか理解できず、抽象的な内容を書く児童が多かったことが挙げられる。このことを踏まえ、記入例を教師用のキャリア・パスポートに明記し、教師が指導しやすいようにした。

また、運動会の目標を達成するために頑張ることについては、仕事面や表現・団技面だけではなく、生活面でも取り組んでいくことが出来ると考えた。このことを踏まえ、低・中学年では記入欄を増やし、高学年では生活面の項目を新たに設け、教育活動全体を通して取り組むことを意識したシートに改良した。さらに、振り返りの「○学年でがんばってほしいこと」の4項目は、本町の児童生徒に身に付けさせたい4つの力をもとに作成した。

運動会に向けて		6年 組 番 名前										
月 日												
○ 運動会の目標(学年(学級)全体の目標) 学校のリーダーという意識をもって、自分の役割に責任をもちながら周りや仲間のことを考えて運動会を盛り上げよう。 <small>各学級・学年の目標です。これは例なので、学校や学級の実態に応じて書き換えても構いません。</small>												
○ 運動会の役員	○ 運動会を成功させるために、自分達の力を発揮するために大事なことは何か考えよう。											
○ 役員の仕事の内容	<table border="1"> <tr> <th>〈仕事面〉</th> <th>〈表現・団技〉</th> <th>〈生活面〉</th> </tr> <tr> <td>運動会のおさ等話し合い、運動会の意義を理解させ、目標の意思決定につなげます。「高学年でも頑張してほしいこと」についても触れ、がんばるこ</td> <td>(例) ・体を大きく動かす。 ・息を合わせる。 ・友達と協力する。</td> <td>(例) ・人の前に立つという意識をもつ。 ・忘れ物をしない。 ・信頼を得る。</td> </tr> </table>		〈仕事面〉	〈表現・団技〉	〈生活面〉	運動会のおさ等話し合い、運動会の意義を理解させ、目標の意思決定につなげます。「高学年でも頑張してほしいこと」についても触れ、がんばるこ	(例) ・体を大きく動かす。 ・息を合わせる。 ・友達と協力する。	(例) ・人の前に立つという意識をもつ。 ・忘れ物をしない。 ・信頼を得る。				
〈仕事面〉	〈表現・団技〉	〈生活面〉										
運動会のおさ等話し合い、運動会の意義を理解させ、目標の意思決定につなげます。「高学年でも頑張してほしいこと」についても触れ、がんばるこ	(例) ・体を大きく動かす。 ・息を合わせる。 ・友達と協力する。	(例) ・人の前に立つという意識をもつ。 ・忘れ物をしない。 ・信頼を得る。										
○ そのために努力することを書きましよう。												
自分達の力を最大限に発揮し、目標を達成するためにはどういった努力をこれからしていきますか、具体的に書きましよう。												
<table border="1"> <tr> <td>(例)</td> </tr> <tr> <td>・あいさつや発表の時など、日ごろから声を出す。</td> </tr> <tr> <td>・屋休みや家でリレーや徒競走の練習をする。(月・水・金の屋休み)</td> </tr> <tr> <td>・毎日ストレッチをしてけがをしないようにする。</td> </tr> <tr> <td>・屋休みの時間にバトミスの練習をする。</td> </tr> <tr> <td>・リーダーとして5年生と協力しながら活動する。</td> </tr> <tr> <td>・何に対してもすぐにあきらめないようにする。</td> </tr> <tr> <td>・毎日会った人に自分から進んであいさつをする。</td> </tr> <tr> <td>・毎日放送の練習をしてすらすら読めるようにする。</td> </tr> <tr> <td>・毎日学校に行く前に忘れ物がないかチェックをする。</td> </tr> </table>			(例)	・あいさつや発表の時など、日ごろから声を出す。	・屋休みや家でリレーや徒競走の練習をする。(月・水・金の屋休み)	・毎日ストレッチをしてけがをしないようにする。	・屋休みの時間にバトミスの練習をする。	・リーダーとして5年生と協力しながら活動する。	・何に対してもすぐにあきらめないようにする。	・毎日会った人に自分から進んであいさつをする。	・毎日放送の練習をしてすらすら読めるようにする。	・毎日学校に行く前に忘れ物がないかチェックをする。
(例)												
・あいさつや発表の時など、日ごろから声を出す。												
・屋休みや家でリレーや徒競走の練習をする。(月・水・金の屋休み)												
・毎日ストレッチをしてけがをしないようにする。												
・屋休みの時間にバトミスの練習をする。												
・リーダーとして5年生と協力しながら活動する。												
・何に対してもすぐにあきらめないようにする。												
・毎日会った人に自分から進んであいさつをする。												
・毎日放送の練習をしてすらすら読めるようにする。												
・毎日学校に行く前に忘れ物がないかチェックをする。												
○ 練習や日頃の生活での自分のがんばりをたしかめましよう。												
自分の目標到達度												
意思決定した目標を朝の会・帰りの会等を活用して定期的に振り返ります。3回の振り返りについて、全校体育や予行練習の後に設定したり、毎週〇曜日と決めて設定したりするなど、各学級の実態に応じて決めます。												
月 日	☆☆☆☆☆											

運動会をふり返ろう		6年 組 番 名前		
月 日				
○ 目標や自分の決めた努力することについて振り返ろう。				
<table border="1"> <tr> <td>自分が決めた目標に対する自己評価を行わせ、行事でがんばれたと思うことを記入させる。 (例) ・リーダーとして、屋休みの時間を計画的に友達と協力しながら活動することができた。 ・運動会ではちよとしたパフォーマンスがあったが、慣れずに先生方の話をしっかりと聞き、対応することができた。落ち着いて行動することの大切さを改めて感じた。 ・中々応援の時に声が出ない友達はどうすれば楽しんで応援に参加してくれるのか考え、面白い応援歌を作ることができた。</td> </tr> </table>			自分が決めた目標に対する自己評価を行わせ、行事でがんばれたと思うことを記入させる。 (例) ・リーダーとして、屋休みの時間を計画的に友達と協力しながら活動することができた。 ・運動会ではちよとしたパフォーマンスがあったが、慣れずに先生方の話をしっかりと聞き、対応することができた。落ち着いて行動することの大切さを改めて感じた。 ・中々応援の時に声が出ない友達はどうすれば楽しんで応援に参加してくれるのか考え、面白い応援歌を作ることができた。	
自分が決めた目標に対する自己評価を行わせ、行事でがんばれたと思うことを記入させる。 (例) ・リーダーとして、屋休みの時間を計画的に友達と協力しながら活動することができた。 ・運動会ではちよとしたパフォーマンスがあったが、慣れずに先生方の話をしっかりと聞き、対応することができた。落ち着いて行動することの大切さを改めて感じた。 ・中々応援の時に声が出ない友達はどうすれば楽しんで応援に参加してくれるのか考え、面白い応援歌を作ることができた。				
○ 心に残ったことや、成長したと思うことを書きましよう。				
心に残ったこと	成長したこと	これからの課題		
行事の中で楽しかったことやうれしかったことを書かせ、肯定的なイメージを獲得させます。そして、学期末や学年末で振り返る際の参考にさせます。 (例) ・皆で心を一つにして組み体操を踊りきれたこと ・団長として人の前に立つために授業では発表をしたり、ノートを一生懸命とったりすることができるようになった。 ・正しいと思ったことに率先して取り組めるようになった。				
○ 運動会で得た大きな経験をこれからどう生かしていきたいですか。				
学校行事でのがんばりを今後の学校生活等どのように生かしていくか意思決定させます。 (例) ・信頼してもらい、友達の力を得るためにも、朝のあいさつや忘れ物などをしてしないようにする。 ・友達に力を与えることができる存在だと気づけたので、友達の良いところをたくさん見つけて伝えていきたい。 ・放送をうまくするために、読み声の練習の時に間や句読点、抑揚などに気をつけて読みたい。 ・時計を見て行動し5分前行動を徹底的にする。 ・自分の〇〇という良さを委員会活動で生かしていきたい。				
○ 「高学年でがんばってほしいこと」についてふり返ろう。				
運動会の練習や係の仕事を通してどのくらいできたか、○をつけましよう。	よくできた	できた	少しかけた	できなかった
自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、みんなを引っ張ることができた。				
自分の長所や短所を知り、それを生かして活動してきた。				
どのようにやればうまくいくか、進め方を考えながら計画を立てた。				
運動会でがんばったことが、これからの生活にどのように生かせるのか考えた。				
保護者には、コメントを記入してもらおうことの意義を説明します。保護者からのコメントを得ることが難しい場合でも、自分を入れたり、保護者以外の方からのコメントをもらったりするなどの配慮が必要です。また、このシートを家庭訪問や懇談、個人面談等で活用し、コメントの内容を考えてもらうことも考えられます。		児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。		

《第5・6学年キャリアパスポート教師用》

(2) 中学校体育大会

① 県版キャリア・パスポートの実践と考察

本センター研究員の担当する学級の生徒を対象として、体育大会等に関する県版キャリア・パスポートの先行実践を行った。従来は、各種行事ごとのワークシートを使用していたため、相互の関連性が意識されにくいという問題点があったが、今回は県版キャリア・パスポートを使用したことによりいろいろな行事との関連性が分かりやすくなった。また、生徒の活動の記録が残ることや、教師や保護者からのコメントやメッセージの中で、生徒のよさをこまやかに認めることができるというよさを感じる事が出来た。

その一方で、記入の際に次のような課題も見られた。事前の欄には、「体育大会の目標(全体目標)」「体育大会を通して学びたいこと・経験したいこと」「自分の目標」の3つの記入欄があるが、生徒は体育大会の目標を体育大会のスローガンを記入し、学校行事としてどのような力を伸ばすかという視点が抜けた目標設定になっている生徒が多かった。また、自分の目標についても、個人の係や役割についての目標や、漠然とした内容の目標を設定している生徒が多く見られた。個人の目標を考える際に、学校行事としてのねらいを意識させる手立てを工夫することが必要であると感じた。

② 国富町キャリア・パスポートの作成

県版キャリア・パスポートを活用した結果から考察し、国富町キャリア・パスポートを作成するにあたって目標（全体目標）の記入の仕方の工夫、自己評価欄の設置を行った。

(A)、(B)、(C) には、次のようなことを記載することにした。

(A) 目標（全体目標）の記入

学校行事のねらいを教師が提示することによって、身につけてほしい力を明確にする。

(B) 個人内目標の設定

(A) を意識した上で、自分の目標を設定する。

(C) 全体目標に対する振り返り

(A) に対応するような振り返りの項目を設定しておき 4段階評価「4（良い）・3（少し良い）・2（少し悪い）・1（悪い）」で記入させる。

これらの欄を活用することで、学校行事（体育大会）を通して身に付けさせたい力を、生徒一人一人が意識し、体育大会の見通しをもって活動し振り返ることができ、そして、今後の学校生活や学校行事に活かしていく態度を育成することができる考えた。

学校行事等（体育大会）		2年 組 番
		氏名
(事前)	記入日 年 月 日	
体育大会の目標(全体目標)		
体育大会を通して学びたいこと・経験したいこと		
自分の目標		
(事後)	記入日 年 月 日	
目標を達成するためにがんばったこと		
心に残っていること		
自分が成長したと思うこと		
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと		
先生からのメッセージ		

学校行事等（体育大会）		2年 組 番			
		氏名			
(事前)	記入日 年 月 日				
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 体育大会の目標(全体目標) ○ ○ ○ (A) </div>					
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 体育大会を通して学びたいこと・経験したいこと・成長したいこと 〃 〃 (B) </div>					
(事後)	記入日 年 月 日				
目標を達成するためにがんばったこと					
心に残っていること					
自分が成長したと思うこと					
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと					
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 全体の目標に対する振り返り (C) <table style="width: 100%; text-align: right;"> <tr> <td>4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>4・3・2・1</td> </tr> </table> </div>			4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
4・3・2・1					
4・3・2・1					
4・3・2・1					
先生からのメッセージ					

《県版キャリア・パスポート》

《国富町キャリア・パスポート》

(3) 「くにとみ学」

【「くにとみ学」の概要】

「くにとみ学」は、各学校の総合的な学習の時間の中に計画され、「地域に学び、国富を知り、ふるさとに誇りをもてる子どもの育成」を目標に掲げ、小・中の9年間を見通した系統性・一貫性のある目標と内容に基づいて、直接、国富の「ひと・もの・こと」から様々なことを学んでいくものである。地域とのかかわりの中で、地域の自然・歴史などのよさや地域の人々の思いや願いにふれ、地域の未来や自分の生き方を考えることを通して、生涯にわたってふるさとを愛する心と態度を育てていく。

町内全ての小・中学校で共通した各学年の学習の視点、学習テーマおよび目標が設定されている。

○ キャリア・パスポートの「くにとみ学」シートの作成と特徴

「くにとみ教育ビジョン」にもとづいて「元気」「つながり」「ふるさと」「自立」の4つのキーワードの実現に向けた本町独自のキャリア・パスポートを作成するにあたり、「くにとみ学」のシートを追加することとした。

キャリア・パスポートに、総合的な学習の時間の取組である「くにとみ学」を追加したのは、「くにとみ学」が、人とのつながりを活かせる学習であること、「計画立案、実行力、評価・改善(L)」等の身に付けさせたい4つの力を伸ばすのに適した学習であることが主な理由である。

なお、「くにとみ学」のシートは、それぞれの担任等が作成・使用するワークシート等と併用することで効果が期待できるものであると考えている。

「くにとみ学」のシートを作成するにあたり、次のような特徴を考慮した。

① 町内共通の「学習の視点・学習テーマ」

各学年の学習の視点と学習テーマを、小学校3年生から中学校3年生まで、全ての学年のものを同じシート内に記載した。これにより、他学年の学習とのつながりや関連性が理解しやすくなる。さらに、その横には、学校独自の「くにとみ学全体計画」をもとにした、各学年の主な学習活動を記入できる欄を設け、その学年で取り組む具体的な活動内容が分かるようにした。

② 身に付けさせたい4つの力

国富町の児童生徒に身に付けさせたい力である「リーダーシップ(D)」「自分のよい所を活かす(F)」「計画立案、実行力、評価・改善(L)」「行動・改善(O)」について振り返ることのできる欄を設けた。

③ 学習の感想欄

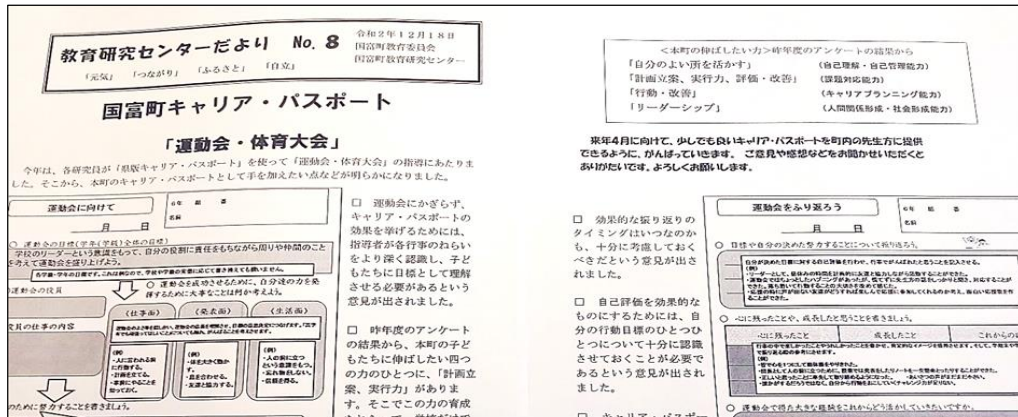
「くにとみ学」のシートの最後に、学習を終えて、国富のことについて初めて知ったことやすごいと思ったことなど、感想を書く欄を設けた。将来、読み返すことで、この頃にどんなことを考えていたのか、自分を振り返り、自分の成長を確かめることをねらいとしている。

「くにとみ学」		5年 組 番		
月 日		名前		
○ くにとみ学の目標				
 国富のよさ、大切さ、未来を考えよう 				
○ テーマ				
学年	視点	学習テーマ	本年度の内容	
小学校3年生		国富の様子を知ろう	①	
小学校4年生	地域のよさに気づく	国富の歴史を知ろう		
小学校5年生		国富の農業を知ろう		
小学校6年生	地域の大切さを知る	国富の産業を知ろう		
中学校1年生		みつめよう、地域		
中学校2年生	地域の未来を考える	みつめよう、自分		
中学校3年生		みつめよう、未来		
○ 「高学年でがんばってほしいこと」についてふりかえろう。				
どれだけできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	少しできた	できなかった
自分から役割や仕事を見つけたり、仕事を分たんだりしながら、みんなを引っ張る。				
自分の長所や短所を知り、それを活かして活動する。				
どうすればうまくいくか、進め方を考えながら計画を立てる。				
今学校で勉強していること、自分のしよ末とのつながりについて考える。				
○ 国富のことについて、はじめて知ったことやすごいと思ったことを書きましよう。				
③				

3 発信・周知

「国富町教育研究センターだより」を発行し、町内の教職員へ活動状況についての周知を図った。

- No.1 「本年度の活動内容」(5月発行)
- No.2 「キャリア教育の必要性、キャリア・パスポート」(7月発行)
- No.3 「国富町キャリア・パスポート メッセージ案(小学校用)」(8月発行)
- No.4 「国富町キャリア・パスポート メッセージ案(中学校用)」(8月発行)
- No.5 「くにとみ学について」(9月発行)
- No.6 「学習指導要領におけるキャリア教育の位置付け」(9月発行)
- No.7 「国富町キャリア・パスポート くにとみ学」(12月発行)
- No.8 「国富町キャリア・パスポート 運動会・体育大会」(12月発行)



《国富町教育研究センターだより》

VII 成果と課題 (○成果 ●課題)

- キャリア教育に関する研修を深め、県版キャリア・パスポートに本町の実態に応じた工夫を加えながら国富町キャリア・パスポートを作成することができた。
- 「国富町教育研究センターだより」を発行し、本町小中学校教職員を対象にキャリア教育並びにキャリア・パスポートに関する情報を発信することができた。
- 「くにとみ学」については、国富町キャリア・パスポートを作成する中で、あらためてその趣旨や背景、活動内容等の確認をし、周知をすることができた。
- 国富町キャリア・パスポートについては、次年度から効果的な活用方法を広めるための取組、活用状況や問題点などの把握、工夫改善を図るための取組などに努める必要がある。
- 昨年度作成した「学習発表会学習計画モデル」を活用、検証し、全教科全領域においてキャリア教育の視点に立った指導が充実していくための取組が必要である。

【引用・参考文献】

- ・「宮崎県キャリア教育ガイドライン」(宮崎県教育委員会)
- ・「小学校キャリア教育の手引き」「中学校キャリア教育の手引き」(文部科学省)

【研究同人】

所 長	豊田 暁光 (国富町教育長)	副所長	日高 健一郎 (教育対策監)
研究指導員	鈴木 光 (スクールサポーター)		
研 究 員	藤浦光希 (本庄小教諭)	杉田知穂 (森永小教諭)	
	桐山雄介 (八代小教諭)	松坂祐子 (木脇小教諭)	
	吉村真一郎 (本庄中教諭)	岡本圭司 (八代中教諭)	八代真澄 (木脇中教諭)